

2020年4月13日

保護者各位

東奥義塾高等学校

塾長 コルドウェル ジョン

Classi への不正アクセスについて

陽春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

本日、普段からご利用いただいている学習支援クラウドサービス「Classi」にアクセスできない状態が続いていますが、システムを運営している Classi 株式会社のサポートデスクから次のお知らせが届きました。[\(https://corp.classi.jp/news/1926/\)](https://corp.classi.jp/news/1926/)もご参照ください)

「Classi 株式会社 Classi サポートデスクです。

Classi は、2020年4月5日（日）夕刻に予期しない事象が発生し緊急でサービス停止をしておりました。これについて、不正アクセスの疑いを含めて調査を開始し、外部専門会社の協力を得て不審ファイルや通信ログを解析したところ、外部の攻撃者により不正アクセスが行われていたこと、および、この不正アクセスにより閲覧された可能性のある情報の範囲とその内容が、4月11日（土）に確定しました。

なお、4月6日（月）のサービス再開時点で、すでに必要な対応は完了しております。4月6日以降の不正アクセスはございません。不正アクセスが行われた時間は2020年4月5日（日）14時5分～同日16時19分。閲覧された疑いのある情報は Classi を利用するための ID（約122万人分）、パスワードが暗号化された文字列（約122万人分・パスワード自体は対象ではございません。）任意記入の教員の公開用自己紹介文（2,031件）です。

これまでのサイバー攻撃への対策に加え、攻撃への対応体制などさらなる対策の高度化を行い、再発防止に取り組みます。大変ご面倒をおかけしますが、ユーザーの皆様によるパスワード変更をお願い申し上げます。初回ログイン時にパスワード変更をお願いさせていただけます。詳細の手順は、本日掲載の Classi お知らせにて手順書を添付してご案内しておりますので、ご一読いただけますようお願い申し上げます。」

東奥義塾が利用しているシステムへの不正アクセスの報道があり、生徒・保護者の皆様に不安を与える結果となったことを申し訳なく思います。その一方、幸いなことに、生徒の成績やその他の個人情報の流出はなく、念のためのパスワード変更で十分に対応できるとの指示をいただいています。現時点で引き続き、Classi へのアクセスができないことによるご不便をお詫びするとともに、生徒の個人情報を守られたのでご安心くださるようお願い致します。

引き続き、本塾の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。